

一般質問

令和5年12月7日、8日
の2日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。



一般質問 12月7日



一般質問 12月8日

質問▼避難所の管理状況はどう

答弁▼多世代交流は重要。
また、行政が関わる部分として資格がなくとも行えるなど、様々な形で介護に関わるようなことに、可能性があると考える。

質問▼介護の理解を深めるためにも身近に立ち寄れる事業所配置の設定について問う。

答弁▼令和5年9月に実施した調査で、事業所72%で不足が生じている。通所介護一か所が令和5年1月から休止認知症対応型GHの一か所が令和5年6月から、1ユニットの受け入れを停止している。

質問▼市内における人材不足や、サービスの低下の現状について問う。

答弁▼公共施設など、34か所の施設、12の福祉施設と協力をいただいている。

質問▼登別市に災害救助犬の団体がある。連携し、活用していくことについて問う。

答弁▼もしものためにも安心材料としても前向きに検討したい。



災害救助犬 訓練の様子



伊達みらい
佐藤まさ則
高齢福祉・災害対応について

質問日 12月7日

公明党 渡辺雅子

質問日 12月7日



小・中学校トイレの洋式化と保育士不足等の対応について

質問▼小・中学校トイレ洋式化と生理用品設置について問う。

答弁▼小・中学校における洋便器率について本市は、全国・全道平均より進んでいるが、伊達中学校については、まだ設置が進んでいなかつたため、令和6年度中に整備したい。

生理用品については各学校の養護教諭が、保健室で管理し生徒への対応をしているが、トイレ備え付けに関しては、各学校と検討していく。

質問▼保育士不足への対策と看護師等修学資金貸付金の状況について問う。

答弁▼特に0～2歳児の保育士不足に関して家庭的保育事業の対象年齢であるが、今まで積極的な募集はしていない。



家庭的保育事業に積極的に取組む

あらた 小倉拓哉

質問日 12月7日



伊達市職員の給与について

質問▼職員給与の決定方法は。

答弁▼初任給については、国家公務員の「行政職俸給表」に準拠し決定している。

質問▼ラスパイレス指数をどう評価しているのか。

質問▼あくまでも、一つの目安として認識している。

質問▼市職員の、持ち家に対する住宅手当の扱いは。

答弁▼検討を行っていく。

質問▼国は平成21年に自宅に係る住居手当を廃止しており、地方公共団体においても、廃止を基本とした見直しと助言している。持ち家への住宅手当の廃止は、国公準拠に反するのでは。

今後周知に力を入れ、取組む。貸付金の今後については、来年度以降も継続利用予定の学生がいるため、伊達赤十字看護専門学校閉校後も一定期間継続する必要がある。看護師・介護福祉士・保育士など国家資格を必要とする人材不足は認識している。国家資格を持ち市内在住で就職する方に奨学金返済支援を検討中、前向きに考えている。

持続可能な社会を実現するためには、地域資源を活用した地域活性化や、多様な雇用形態による就業機会の創出が重要である。また、労働条件の改善や労働環境の整備を通じて、労働者の満足度向上を目指す。具体的には、労働時間の短縮化、労働環境の改善、労働条件の改善などを実現するための取り組みを進めることである。

答弁▼職員が市内に住んでもらう為にも、住居手当が必要。

質問▼職員の昇進意欲に繋がる給与体系となっているのか。

答弁▼そうなるように、常に見直しを行っている。

質問▼伊達市独自の給与規定を作る考えはあるか。

答弁▼現在は考えていない。

*1 ラスパイレス指数

*2 國公準拠
　　地方公務員法第24条第3項に示されている「均衡の原則」に則った、国家公務員の給与に準ずるという運用のこと。



自民クラブ
寺島 徹

伊達市の公の施設の指定管理者制度の運用について

質問日 12月7日



伊達市総合体育館「あかつき」

質問▼この議案審議における判断基準について。

答弁▼指定管理者の選定は議会において議決を求めるもので、選定委員会において、定められた方法で選定している事や要件を満たしていることを認定した旨を確認・審議するものである。

質問▼条例及び規則の改変等の必要性について。

答弁▼これまで課題が挙がる都度事務取扱を協議し見直しを図っている。

質問▼指定管理者制度における情報公開について。

答弁▼選定に関する情報等を市ホームページ等に公表している。



新政ひまわり
田中秀幸

人材確保に係る施策・市民課窓口の対応について

質問日 12月7日

質問▼過去の指定管理団体等に対する評価について。

答弁▼指定管理者の事業評価については、各年度毎に、必要な指導や評価を管理者へ伝えていく。

質問▼看護師、介護福祉士、保育士といった国家資格を必要とする人材不足が慢性化している。

質問▼建設分野、各種事業所の人材確保の現状を問う。

答弁▼慢性的な人材不足や高齢化が進んでおり、新たに募集しても、求職者が少ない。各種事業においても、経営上の問題として、人材不足は深刻な問題となっている。

質問▼人材育成をするため、奨学金制度等を導入する考えはあるか。また、人材不足に対する対策を、どのように考えているか問う。



デジタルサイネージ

質問▼医療、介護、保育といった社会保障分野の人材確保の現状を問う。

答弁▼看護師、介護福祉士、保育士といつた国家資格を必要とする人材不足が慢性化している。

質問▼来庁者が記念撮影するバツクボード等を設置する考え方はあるか問う。

答弁▼医療福祉分野の国家資格を持ち市内に在住して就業する方に奨学金の返済支援を検討している。また、外国人材の活用も含め、複合的に政策を打つていただきたい。

質問▼デジタルサイネージを利用した記念撮影を検討する。

答弁▼デジタルサイネージを利用する情報公開について。

質問▼選定に関する情報等を市ホームページ等に公表している。

無会派 吉野英雄

質問日 12月8日



道教委の休業日数拡大方針を受けての対応について

質問▼道教委は休業日数に関し「概ね56日」とするとしたが、道教委の方針を受け、伊達市教育委員会としての対応は。

答弁▼市学校管理規則を改正し、市内小中学校の夏・冬の休みを延長できるようにしたい。

質問▼全国の小中生徒の不登校数は過去最多の29万9千人となっている。伊達市の状況及び対策は?



休業日数拡大が検討される小中学校

質問▼小学校の事故の検証結果と学校現場の意思疎通の構築は。

答弁▼子供たちの健康を守る対策ガイドラインを作成。いつ、誰が、どのように対応するかなどを明記した対応マニュアルや暑さ指数計による活動の判断基準を国よりも厳しく設け作成し、実態に即し活用をはかっている。

新政ひまわり 阿戸孝之

質問日 12月8日



伊達赤十字病院・大滝区の振興・伊達開來高校の補助金について

質問▼伊達赤十字病院について今後の財政支援と期待する役割についてどう考えるか伺う。

答弁▼補助金による支援継続が必要だと考えているが、存続を見極めた上で対応していく。

質問▼伊達赤十字病院について今後の財政支援と期待する役割についてどう考えるか伺う。

答弁▼補助金による支援継続が必要だと考えているが、存続を見極めた上で対応していく。

質問▼家賃の低額化、法人による契約、ワーケーション等多彩な利用についてはどう考えるか伺う。

答弁▼多角的に検討したい。

質問▼伊達開來高校への補助金より義務教育を優先すべきと考えるが、今後を伺う。

質問▼伊達開來高校への補助金より義務教育を優先すべきと考えるが、今後を伺う。

質問▼伊達開來高校への補助金より義務教育を優先すべきと考えるが、今後を伺う。

答弁▼多角的に検討したい。

質問▼大滝区の移住定住対策として求人情報の収集と市営住宅の弾力的な運用をする考え方はあるか伺う。

質問▼大滝区の移住定住対策として求人情報の収集と市営住宅の弾力的な運用をする考え方はあるか伺う。



道立伊達開來高等学校

公明党
大光力

質問日 12月8日



廃校・遊休施設の利活用・ 地域公共交通について



伊達市市民研修センター（旧胆振青年の家）

質問▼伊達市市民研修センター（旧胆振青年の家）の利活用について問う。

答弁▼建設から50年以上経過し、老朽化が進んでいる。建物の解体を前提に当該敷地の売却を含めた有効活用を進める。

質問▼旧有珠小学校及び旧達南中学校の利活用について問う。

答弁▼行政利用の可能性を検討したが、具体的な利活用に至っていない。



質問▼新たな地域公共交通サービス導入について問う。

答弁▼地域住民の足を確保するため、先進地の事例を参考にしながら、持続可能な公共交通体系を構築するとともに、本市の実態にあつた公共交通サービスの導入を調査研究していく。

質問▼市長公約で掲げる農業伴走型支援について伺う。

質問▼これまでと同様に既存農業者への支援はもとより、新規就農者へは生産活動だけではなく、生活環境も含めた総合的な支援を行い、持続的に発展する農業の推進を図っていく。

答弁▼これまでと同様に既存農業者への支援はもとより、新規就農者へは生産活動だけではなく、生活環境も含めた総合的な支援を行い、持続的に発展する農業の推進を図っていく。

また、高い農業技術を持つ農業者が多いことが当市のポテンシャルとして認識できたので、その強みを生かした取組を検討していきたい。

質問▼長和工業団地の今後について伺う。

質問▼ひとり親家庭の支援について伺う。

答弁▼分譲予定地が埋まつた後、他の未整備な土地への誘致に力を入れていきたい。



引き続き企業誘致を進める長和工業団地

伊達みらい
小久保重孝

質問日 12月8日



これから農業・長和工業団地・ ひとり親家庭の支援について

質問▼ひとり親家庭の支援について伺う。

答弁▼これまでも隨時、電話や窓口での相談に応じて支援を行っているが、更にきめ細かな支援メニューの必要性を認識していることから、ひとり親世帯への精神的・経済的な支援を総合的に行い、サポートできる環境作りを研究していく。

質問▼長和工業団地の今後について伺う。

答弁▼分譲予定地が埋まつた後、他の未整備な土地への誘致に力を入れていきたい。



図書館整備について

質問▼図書館整備事業は、基本構想がまだ作成途中にも関わらず実施設計の入札が行われるという慌ただしいスケジュールで進み、市民への説明が不十分だ。改めて、図書館整備の目的と計画を伺う。

答弁▼開館から43年が経ち老朽化し、交流の場としての役割やデジタル化の推進など時代に即す課題を抱えている。新図書館は令和8年3月完成を目指し経費は約5億円。

その後、現図書館は複合遊具施設と図書館機能を有する施設として約3億円掛けて改修し、一体的な運用を計画している。建設地は現図書館東側を考えている。

質問▼建設地は、公共交通機関が不便であり、多世代の市民が集う居場所の役割も担う



後利用が予定される図書館

施設として適地なのか伺う。

答弁▼公共交通機関が便利なカルチャーセンター・駅との複合施設化も考えられるが、食育センター・屋外遊具施設との連携と費用面を総合的に考え計画をした。

市街地は駅前、市役所界隈と歴史の杜周辺の二極に分かれおり、その一極内での建設は居場所機能を担えると考える。



サウンドカード

★令和5年11月17日(金)

topic
1

議会研修会（サウンドカード）

『議員間討議』は『対話から』をテーマに、青森大学社会学部教授早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員佐藤淳先生をお招きし、令和5年11月17日(金)伊達市議会議員研修会を行った。政策提言につなげる『議員間討議』について、さまざまなお問い合わせが書かれた『サウンドカード』を使い、議論が進む中で、議会から政策を提案する流れとして、「対話」による意味付けを共有し、「議論」することで方策を考え、政策提案の内容を決めるという手法である。議員間で問題意識と改革、提案方法を共有できることとなり、伊達市議会の質の向上と、行政側と異なる建設的な討論の可能性が期待できる実りの多い研修会であった。

今後は、議員間討議等の手法のひとつとなりえると感じた。